



第34回読書感想画中央コンクール 作品募集のお知らせ



- ☆指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できます。
- ☆×切…校内×切 令和5年1月10日(火)
- ☆指定読書…下記参照
- ☆自由読書…自由に選んだ図書の感想画
- ☆用紙・画材…用紙は画用紙・ケント紙・キャンパスボード・マニラ紙・ボール紙。画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。(版画、はり絵も可。)
- ☆寸法…36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさ。
- ※詳しくは、芸術科の藤田先生または図書館までお問い合わせください。

図書館開放について

◇◇保護者の皆様へ◇◇

三者面談期間にあわせて図書館を開放します。
面談にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。
【期間】 12月12日(月)～16日(金)
【時間】 13:00～16:00



〈第34回読書感想画指定図書〉 中学・高等学校の部

- 『はなの街オペラ』森川成美・著(くもん出版)
- 『蛭と月の真ん中で』河邊徹・著(ポプラ社)
- 『ぼくたちのスープ運動』ベン・デイヴィス・著/渋谷弘子・訳(評論社)
- 『さばの缶づめ、宇宙へいっく』小坂康之ほか・著(イースト・プレス)
- 『火星は…』スザンヌ・スレード・著/千葉茂樹・訳(あすなろ書房)



※書影「版元ドットコム」より

図書委員オススメの本

『図書館戦争』有川浩・著 (KADOKAWA)



この本は実写映画化、アニメ化、漫画化等さまざまなメディア化がされているロングセラー本です。時は正化31年、「良化機関」によって表現の自由が規制される時代に、武装した良化機関隊員による強引な本の検閲(取り調べ)に対抗するために、同じく武装した図書館職員「図書隊」が本を守り、表現の自由を守るために戦う物語です。主人公は図書隊初の女性隊員として、上司や同僚、利用客との日常を描き、良化隊員との戦闘という非日常が描かれています。
この本は本編全4巻、別冊2巻のシリーズ本、「図書館〇〇」となっていて、最初の2巻「戦争」と「内乱」はアクションが強めで、後の「危機」、「革命」は恋愛強め、別冊2巻は純恋愛モノとして楽しむことができます。アクションだけが見たい人は「内乱」までで止めても結構です。
シリーズとしては量が多いですが、一冊一冊の内容が濃いので、すぐに全巻読めようと思います。表紙絵にも伏線があるので、読み終わってから表紙をよく見てみてください。どのシーンかすぐに分かるはずですよ。ぜひ読んでみてください。

『ブラックペアン1988』海堂尊・著 (講談社)



私は『ブラックペアン1988』という本を推薦します。この本は主人公である研修医の世良が東城大学医学部附属病院を舞台に展開される、医療ミステリーです。この本には、世良の他に大学教授の佐伯、天才医師の渡海、帝華大から送られてきた高階の4人の医師を主として、物語が進められていきます。この4人は医師であるのは共通していますが、物事の考え方や生き様などが異なっており、人間味の溢れるキャラクターとなっています。ドラマ化もされていますので、気になった方は読んでみてください。

『かにみそ』倉狩聡・著 (KADOKAWA)



この小説は、日本ホラー小説大賞優秀賞を受賞した作品です。そしてホラー小説でおなじみのKADOKAWA社が出版した本です。作者は、東京都生まれの倉狩聡さんです。倉狩さんは国際製菓専門学校夜間部を卒業し、2013年(僕が7歳の時です)に第20回日本ホラー小説大賞優秀賞を受賞しました。怪物であれ、巨大生物であれ、人間が食われる話は星の数ほど存在するわけですが、カニという生物をチョイスするセンスが光るこの作品は、倉狩さんの奇抜なアイデアと繊細な情景描写や心理の推移を丁寧に表現するテクニックが生きている作品です。「泣けるホラー」「ラストで切なくなるホラー」「ホラーなのにカニがかわいい」などと話題になったようです。自分一人生きるためにも、数え切れないほどの生物が殺生されている。そんなことを意識させられた作品でした。この話が映画だったらグロすぎて絶対に見られないと思いますが、文字による描写だと難なく読めるのが小説の良いところ。恐怖や葛藤の心理の推移が丁寧に描かれているのも、映画では味わえない小説の醍醐味ですね。他作品に『かにみそ』と同じ世界観で描かれた『今日はいぬの日』という人間と犬の戦いの話の小説もあるので、ぜひ読んでみてください。

『君の臓腑を食べたい』住野よる・著 (双葉社)



この本は、アニメ映画化や実写映画化もされたベストセラー作品です。
この本の主人公の名前は、終盤まで明かされません。「地味なクラスメイト」「秘密を知っているクラスメイト」「仲良し」「????」と、クラスメイトの山内桜良との関係で表されています。ではこの関係の「秘密を知っているクラスメイト」の秘密とは何のことでしょうか？
それはクラスメイトである桜良の臓腑がんとあります。桜良の患っている臓腑がんはもう治療することができず、余命宣告もされています。彼女にはもう未来も当たり前の日常もありません。ただ日々を演じています。そこに入ってきたのが「地味なクラスメイト」でした。秘密を知ってからも、彼女の日常を壊さず、一緒に過ごしてくれる「秘密を知っているクラスメイト」。その関係性はどんどん変化していきます。「名前のない僕」と「日常のない彼女」の物語。最後まで展開が止まらないので、ぜひ読んでみてください。

『聖女の救済』東野圭吾・著 (文藝春秋)



IT関連会社の社長である真柴義孝が他殺により自宅に死亡しているのが発見される所からこの物語は始まります。その後の調べで死因は毒物であり、部屋に残されていたコーヒーとコーヒーを入れる時に使ったペーパーフィルターから見つかりますが、肝心の薬物がどのタイミングで混入したのかわかりません。そしてこの謎を解いていくのが物語の主人公、湯川学です。湯川は帝都大学工学部物理学科准教授で物理学において天才的な頭脳と鋭い洞察力も持っているため大学時代のサークル仲間である警視庁捜査一課刑事の草薙から持ち込まれる数々の難事件や怪事件のトリックを暴いてきました。今回の事件は「理論的にはあり得ても実行することはあり得ない」という手口であり、完全犯罪です。普通の人間はどうやって殺すかに腐心し労力を使いますが、今回の犯人は殺さないことに全神経を傾け「いつでも殺せる状態」をつくる一方で、「殺せない状態」を維持し続けました。その理由はこの本の「聖女の救済」というタイトルに全て隠されています。ぜひ読んでみてください。

新着図書案内 11月

書名	著者名	出版社	請求記号
マイナーマの探し方 探究学習ってどうやるの?ちくまQブックス	片岡則夫	筑摩書房	002
デジタル空間とどう向き合うか 情報健康の実現をめざして	鳥海不二夫	日経BP	007
文にあたる	牟田都子	垂紀書房	021
限りある時間の使い方	オリバー・パークマン	かんき出版	159
古代の都市 最新考古学で蘇る社会	ハトリシア・ダニエルズ	ナショナルジオグラフィック社	209
一冊でわかる北欧史 世界と日本がわかる国くにの歴史	村井誠人	河出書房新社	238
少年のための少年法入門	山下敏雅	旬報社	327
図解でわかる14歳からの自然災害と防災	社会応援ネットワーク	太田出版	369
六カ国転校生ナージャの発見	キリーロバ・ナージャ	集英社	372
世界を変えた書物	山本貴光	小学館	403
看護の仕事がわかる本	菱沼典子	日本実業出版社	498
おはよう!アジアの朝ごはん	口尾麻美	誠文堂新光社	596
SHO-TIME大谷翔平 メジャー120年の歴史を変えた男	ジェフ・フレッチャー	徳間書店	783
てんまる PHP新書	山口遙司	PHP研究所	811
新編怪奇幻想の文学 1.怪物	紀田順一郎ほか	新紀元社	908
赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。	青柳碧人	双葉社	913.6
月の立つ林で	青山美智子	ポプラ社	913.6
鳥の緑羽	阿部智里	文藝春秋	913.6
機械仕掛けの太陽	知念実希人	文藝春秋	913.6
君といた日の続き	辻堂ゆめ	新潮社	913.6
菜と嘘の季節	米澤穂信	集英社	913.6
偶然の散歩	森田真生	新潮社	914.6

